

2020 年度第 1 回愛知県 D X 推進本部有識者会議
議事録（主な意見）

【岩田彰座長 名古屋工業大学名誉教授】

- ・行政のデジタル化を進める上で、マイナンバーカードは非常に重要である。利便性ばかりを強調するのではなく、紛失しても大丈夫といった安全面も一緒に啓蒙したほうがいい。
- ・県も D X 推進本部を立ち上げたので、このプランも D X を前面に打ち出していくのがよいのではないか。

【前田みゆき委員 内閣官房 I T 総合戦略室政府 C I O 補佐官】

- ・国が年内に策定する予定の自治体 D X 推進計画に対応した見直しを行うことを記した方がいい。

【安田孝美委員 名古屋大学教授】

- ・行政手続のオンライン化を迅速に進めていただきたい。
- ・官民データ活用推進基本法に基づくものであることを始めのほうに記した方がいい。

【小栗宏次委員 愛知県立大学教授】

- ・「情報化」、「I C T」、「D X」の明確な定義はなく、曖昧でわかりにくいので、わかりやすいキャッチフレーズのようなものがあるとよい。
- ・例えば、コンテストなどデジタル化に向けた県民運動的な盛り上げを図る取組を盛り込んでどうか。

【竹本憲委員 中部経済連合会調査部担当部長】

- ・国はデジタル庁を作って、デジタル化を推進しようとしているので、愛知県においても、組織体制の更なる強化が必要になってくる。
- ・セキュリティの関係で最近いろいろ問題はあったものの、世の中の動向として、キャッシュレス化は当然進んでいく話である。感染症対策としての非接触社会を作っていくという意味でもキャッシュレスは重要である。

【井上あい子委員 a i 株式会社代表取締役】

- ・冊子ができ上がったら、県立高校の授業で取り入れるなどして、広く周知を図ってほしい。

【奥田美穂委員 東海市企画部情報課統括主幹】

- ・デジタル人材育成については、市町村も同様の課題を持っているので、連携して行っていただきたい。